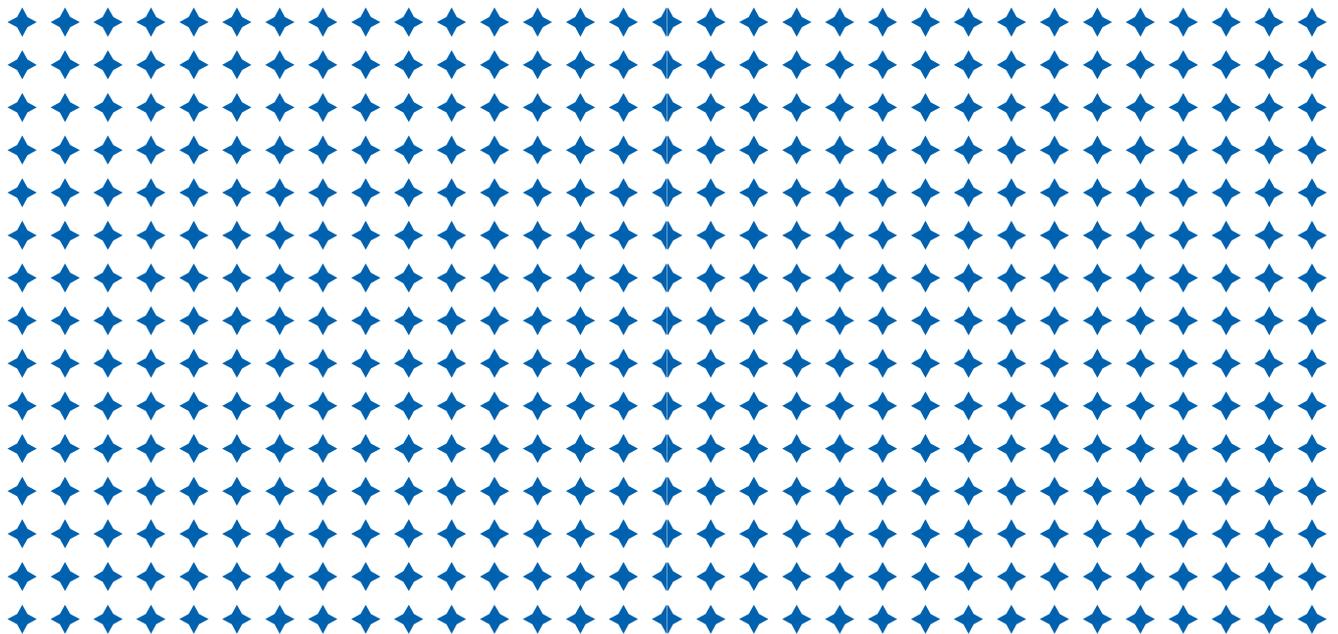


HONGO
100 YEARS since 1922
and **THE FUTURE**

令和 3 年度
入試報告会 資 料



本郷中学校・高等学校 入試報告会

- 資料目次 -

学校長挨拶	P. 2
1. 学園構成	P. 3
2. 大学合格実績	P. 5
3. 入試問題作問の方針について	P. 7
4. 中学校入試結果	P. 8
5. 2022年度入学試験について	P. 10
6. 説明会日程・公開行事	P. 10

平素より本校の教育活動に関しましてご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では昨年の1月と2月に最後の高校入試（令和2年度入試）を行い、この2月に実施した令和3年度入試より中学校のみの募集となりました。入試状況に関しましては、お陰様で^{*}2月1日の第1回入試で初めて応募者が500名を超え、本校を第一志望とする受験生が、少しずつではありますが着実に増えており、非常に嬉しく思っております。これもひとえに皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

^{*}第1回入試を2月1日に行うようになったのは平成26年度入試からで、今回で8年目となります。

さて、本校での教育改革の取組みも牛の歩みではございますが、「学校の目指すもの」が生徒達に着実に浸透してまいりました。今年度も引き続き、校訓の「強健・厳正・勤勉」を旨として、人間力と社会力を育てる教育を行い、複雑化する社会の中でたくましく生きていくことができる男子を育成したいと考えております。

人間力の育成では、以下のことに力を入れて日々の教育にあたっております。

- 確かな学力をつけさせることで、いかなる状態に置かれても、適切に判断できるようにする。
- 先を見据えた学習計画をきちんと立てられるようにする。
- 文武両道の一環として最後までクラブ活動をやり抜かせる。
- きちんと挨拶ができるようにする。感謝する気持ち、思いやる気持ちをもたせる。
- 学校行事に進んで参加することで、他者との関わりを大切にする気持ちをもたせる。
- 朝読書により視野を広める。

社会力の育成では、「世の中を変えていく力」を身につけさせることを主眼に以下のような指導を行っております。

- 生徒会活動の活性化をめざし、本郷祭や体育祭などを生徒主体で運営する。
- 情操教育の一環として行われる講演会・音楽会・古典芸能鑑賞会などを通して、生徒の情操を養う。
- HR 活動を通して、人の意見を聞き、自分で考え判断し、自分の言葉で発言できるようにする。
- 目標を立てそれに向かって努力することの大切さを学ばせる。

以上のことを踏まえて、生徒諸君には、大学進学とは自分の目標に向かって努力することによる成果なのだということを伝えていきます。本校では、生徒諸君が「社会のリーダーたる人間」として必要な問題解決のための知識、解決の選択肢、倫理観が得られるように手助けすることが教育だと考えています。

最後に、先生方におかれましてはこれまでと同様に本校の教育活動にご理解を頂き、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により今年度の「入試報告会」を「動画配信」という形で実施させていただくことになりました。本校としましては「学校の教育方針や入試結果など」を皆様に直接ご説明させていただきたく、準備を進めてまいりましたが、現在でも新型コロナウイルス感染症は収束の兆しを全く見せておらず、今年度も苦渋の決断をせざるを得ない状況となっております。報告会へのご参加をご検討頂いた皆様には大変申し訳ありませんでした。

さて、昨年度の休校期間中、家庭にいる生徒たちと本校教員はいろいろな手段で連絡を取っていましたが、その中でICT機器活用の意義というものを感じさせられました。こと便利さという点では私の想像以上で、今後もコロナとは関係なく、生徒の学習活動等には必要不可欠な道具となることは間違いありません。そのため、本校では校内のICT環境を整え、この4月より高校3年生を除く全生徒（中学1年生から高校2年生の全生徒）にChromebookを持たせることになりました。活用の仕方等を十分に検討してからの導入ではありませんでしたが、競技大会や生徒会選挙の投票に利用するなど、生徒たちはすでに我々教職員よりも上手にこの道具を使いこなしてくれています。使い方は「走りながら考えよう」という状態での導入ではありましたが、生徒たちのお陰で我々のイメージよりもスムーズなスタートが切れたのではないかと思います。

また、中学校で行っている卒業論文に関しまして、これまでは教務部と担任がその指導を主に行ってききましたが、今年度より社会科もその指導を担ってくれることになり、これまでよりも充実した指導を行うことができるようになりました。（例：中学3年時に（社会科の）授業を2分割して論文の指導を行うなど。）今後は「自分の考えや意見を相手にわかりやすく伝える力」すなわち「発信力」というものがますます重要になってきますので、その点も踏まえ、論文指導をこれまで以上に効果的に行いたいと考えています。また、コロナ禍ではありますが、本校の最大の特徴である文武両道を掲げながら、今後もバランスの取れた生活環境を生徒たちに提供できるよう、日々邁進して行きたいと思っています。

1. 学園構成

■教員構成

	22～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
人	2	2	12	12	17	20	16	3
計	2	14		29		36		3

専任教員 84人：中学校 38人、高等学校 46人（女性教員 8人）

専任教員平均年齢 47.6歳

非常勤講師 45人（女性講師 15人、外国人講師 4人）

（参考：図書館司書教員 1人、養護教員 3人、カウンセラー 1人）

■クラス編成

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	合計
中学1年	43	43	43	43	43	43	43	301
中学2年	43	43	43	43	43	43	43	301
中学3年	42	42	42	42	42	42		252

在校生数	1731人
中学校	854人
高等学校	877人

高校1年	普通科（本郷中学入学生）						合計
	1組	2組	3組	4組	5組	6組	
	41	41	41	40	44	44	

※5・6組は特進コース

☆習熟度別授業 1～4組の数学I 2クラス2分割

高校2年	普通科（高校入学生・中学入学生の混合クラス）										合計
	文科			理科			特進コース				
	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組	
	36	35	38	40	40	40	15	29	16	28	

※特進コースの7組・9組は文科系、8組・10組は理科系

※7・8組、9・10組は、それぞれ共通科目とSHR・LHRは合同

高校3年	普通科（高校入学生・中学入学生の混合クラス）										合計
	文科			理科			特進コース				
	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組	
	39	37	38	38	39	38	13	28	12	27	

※高校2年・高校3年の特進コースの7組・9組は文科系、8組・10組は理科系

※7・8組、9・10組は、それぞれ共通科目とSHR・LHRは合同

☆習熟度別授業 理科系進学コースの数学IIIは3クラス3分割、理科系（4・5・6・8・10組）の物理の演習は5クラス5分割

☆分割授業 1～6組の英語表現II（英作文・文法）は1クラス2分割

■ 日課表

08:20	～	08:30	朝読書
08:30	～	08:35	SHR
08:40	～	09:30	1時限目
09:40	～	10:30	2時限目
10:40	～	11:30	3時限目
11:40	～	12:30	4時限目
12:30	～	13:05	昼休み
13:10	～	14:00	5時限目
14:10	～	15:00	6時限目

※月曜日～金曜日は6時限授業

土曜日は4時限授業

※高校3年生では、学校設定科目としての受験講座が正規の時間割の中に組み込まれています。

〈令和3年度実施科目〉

国語演習 A・B、社会演習 A・B、数学演習 A・B、理科演習（物理、化学、生物、地学）

英語演習 a・b

2.大学合格実績

① 2年間現浪別 卒業生数(2020年度:329名, 2019年度:308名)

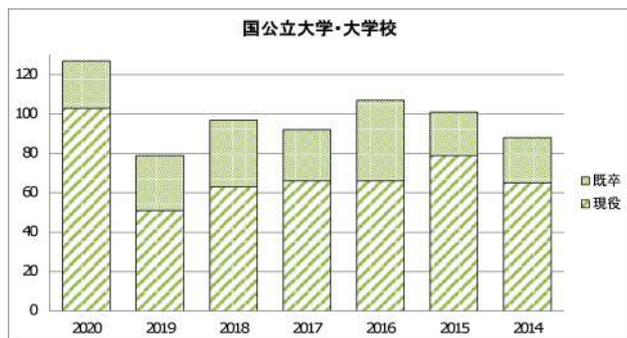
国公立大学・大学校	2020年度		2019年度	
	総数	現役	総数	現役
東京	9	8	8	6
京都	4	4	2	
一橋	8	7	4	4
東京工業	13	11	4	4
北海道	7	5	4	4
東北	8	7	4	2
大阪	3	3	2	1
九州	1	1		
筑波	7	6	2	2
群馬	2	1		
埼玉	2	2	2	1
千葉	11	8	7	4
電気通信	3	2	5	5
東京医科歯科	1			
東京外国語	1	1		
東京学芸	1	1	1	
東京芸術	2	2		
東京海洋	3	2	1	1
東京農工	3	2	3	2
横浜国立	8	7	5	5
高崎経済	1			
東京都立	4	4	2	1
旭川医科	1	1		
北見工業			2	2
岩手	1	1		
秋田	1	1	1	1
山形	1			
新潟	2	2	1	
富山			2	1
金沢	2	1	1	
山梨	1		1	
信州	3	3	3	2
静岡	1	1	1	
岐阜	1	1		
京都工芸繊維			1	1
神戸	1	1		
島根	1	1		
宮崎			1	
鹿児島	1	1		
岩手県立			1	
国際教養			2	
都留文科	1			
大阪市立	1	1		
九州歯科	1			
防衛大学校	1	1	1	1
水産大学校			3	1
防衛医科大学校	3	2	2	
航空保安大学校	1	1		
合計	127	103	79	51

私立大学	2020年度		2019年度	
	総数	現役	総数	現役
<難関私立大学>				
早稲田	121	96	136	110
慶應義塾	83	70	74	56
上智	30	28	28	17
東京理科	132	110	136	118
合計	366	304	374	301
<MARCH+G>				
明治	147	114	140	106
青山学院	25	20	14	9
立教	29	28	54	33
中央	78	60	48	32
法政	63	45	59	45
学習院	9	5	15	10
合計	351	272	330	235

医学部医学科	2020年度	
	総数	現役
旭川医科	1	1
東北	1	1
秋田	1	1
筑波	2	1
群馬	1	1
千葉	1	1
東京医科歯科	1	
新潟	1	1
金沢	1	1
信州	1	1
岐阜	1	1
神戸	1	1
獨協医科	1	
国際医療福祉	6	4
北里	5	1
杏林	1	
順天堂	2	2
昭和	4	2
帝京	2	
東京医科	4	2
東京慈恵会医科	7	5
東邦	6	4
日本	3	1
日本医科	3	1
近畿	2	1
久留米	1	
防衛医科大学校	3	2
合計	63	36

② (国公立大学・大学校 および 難関私立大学(早稲田大学・慶應義塾大学) 難関国立四大学(東京, 京都, 一橋, 東京工業) + 国公立医学部

の合格者数の推移



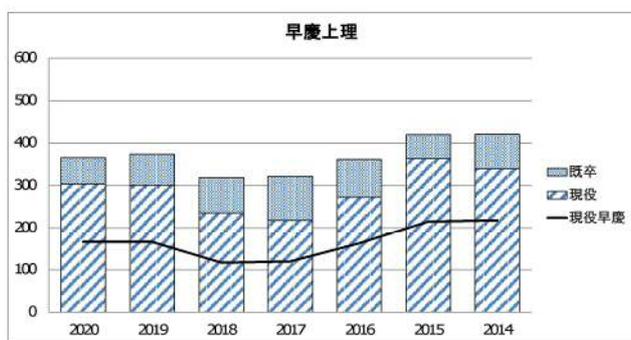
国公立+大学校

年度	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014
総数	127	79	97	92	107	101	88
現役	103	51	63	66	66	79	65



難関国立四大学+国公立医学部

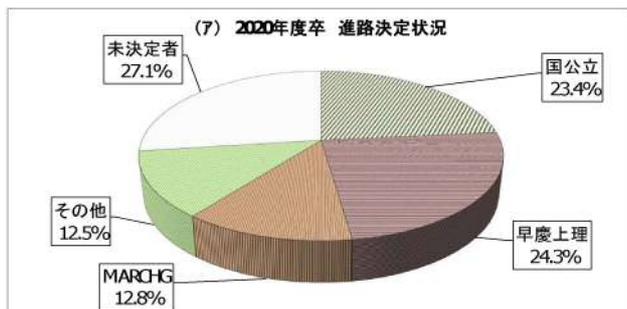
年度	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014
総数	47	21	34	50	42	41	36
現役	41	15	23	34	23	32	25



早慶上理

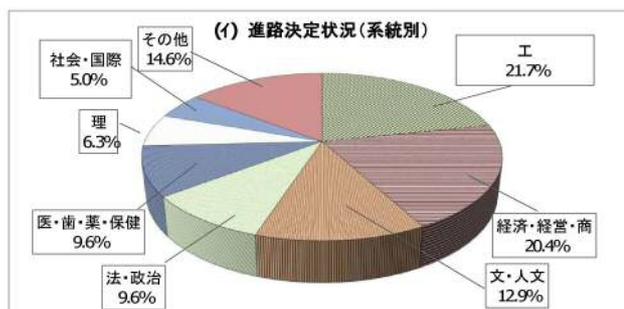
年度	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014
総数	366	374	319	322	362	420	421
現役	304	301	235	218	272	363	339
早慶現役	166	166	117	120	163	215	218

③ 進路決定状況について



(ア) 進路決定状況

進路決定先	人数	割合(%)	(昨年度%)
国公立	77	23.4%	13.3%
早慶上理	80	24.3%	29.2%
MARCHG	42	12.8%	11.4%
その他	41	12.5%	7.5%
進路決定者	240	72.9%	61.4%
進路未決定者	89	27.1%	38.6%



(イ) 進路決定状況(系統別)

※進路決定者に対する進学先系統別人数の割合

進路決定分野	人数	割合(%)
工	52	21.7%
経済・経営・商	49	20.4%
文・人文	31	12.9%
法・政治	23	9.6%
医・歯・薬・保健	23	9.6%
理	15	6.3%
社会・国際	12	5.0%
その他	35	14.6%

3. 中学校入試問題の傾向と対策

● 国語

【作問の基本方針】

(一) 漢字の出題においては、毎日、丁寧に漢字の読み書きを学習しているか、言い換えれば日々の地道な学習の積み重ねができていないかを確認したいという方針を持っています。受験生にとって、特に難しい漢字を出題するのではなく、日々の丁寧な漢字学習が得点に反映される出題を心がけています。

(二) 論理的文章(評論文、説明文など)の出題では、筆者の論点、主張を正確につかむ力を見ることを意図しています。また問題文中の情報を正確に把握する力を見ること

も意図しています。このような力を養う過程で必要となるのは語彙力、別の言葉で言い換える力、論の流れを構造的に把握する力、論を俯瞰したうえで細部を解釈する力、細部から論の方向性をつかむ力です。これらの力について各設問を通して、総合的に見たいと思っています。

(三) 文学的文章(小説、随筆など)の出題では、ストーリーを正確に把握したうえで、出来事の因果関係、場面の状況、登場人物の心情などを、描写や会話を手がかりにして正確に読み取ることができているかを見たいと思っています。

記述問題について

本校の記述問題の出題方針は独創的な発想や表現力を見るというものではありません。本校の記述問題を通して確認したい力とは、設問の意図、要求を正確に理解し、問題文の中から必要な部分を設問の意図、要求に合う形に編集し、言い換える力です。

【試験実施結果】

記述問題には多くの受験生が積極的に取り組んでくれました。合格者の答案を見ると、最初からあきらめてしまうことなく、じっくりと向かい合い、少なくとも部分点は獲得しているという傾向が見られました。ただし、問題文の言葉を抜き出してつないだような解答と、自分なりにまとめられた解答とでは得点に差がつかまりました。また、基本的な問題、結果として正答率が高かった問題で確実に得点しているというのも合格者の答案に見られた傾向でした。

● 算数

【作問の基本方針】

次の力がどの程度あるのかを特に確かめたいと考えています。小問集合では、「基本事項」(当たり前のこと)を「当たり前」にできる力。大問では「イメージがわきにくいもの」を「具体化」し、「習った知識」に「言い換え」で考える力。および、「(1)で分かったこと」を「質問者の意図」を踏まえて「(2)以降で有効に活用する」力。

【試験実施結果】

上記で述べた内容に関する力を発揮出来たか否かで、特に差が出る傾向があります。具体的には、「基礎問題、定番問題(ミスなく得点できたか?)」「大問3番以降の(2)までは正解できたか?」といった箇所差が出ました。また、例年の出題傾向を踏襲しているので、本校の過去問にしっかり取り組んだ受験生は有利であったように思います。

● 社会

【作問の基本方針】

地理では、地図・統計・グラフなどの資料の読解、国内の諸地域の特色などについて、基本的な事項がしっかりと理解できているかどうかを問います。

歴史では、時代や分野に偏らず、日本の歴史について一通りの知識を正確に習得しているかどうかを問います。正しく漢字で書けるか、類似用語と区別できているかに注意してください。

公民では、政治や経済に関する基本事項だけではなく、グローバル化する現代に関する事項を出題することもあります。日頃から様々なことに関心を持ち、新聞やニュースに触れておく必要があります。

【試験実施結果】

地理では、基本的な事項に対してオーソドックスな勉強を心がけてきた受験生はよく対応できていました。さらに深い知識を問う設問については、理解力の差が大きく表れる結果となりました。

歴史では、例年の傾向ではありますが、基本的な歴史用語についてはよく書けていたものの、漢字のミスや類似用語との混同が多く見られました。記号選択問題では、紛らわしい選択肢の絞り込みに必要な知識が曖昧・不十分であったようです。

公民では、きちんと対策をしてきたと思われる受験生は、やはり基本問題の正答率が高くなっています。その一方で、思考力を試す問題については、準備不足の答案も見られました。

全体としては、得点数に大きな上下差が生じており、基本事項の習得度の差が、得点差に大きく影響したようです。

● 理科

【作問の基本方針】

物理・化学・生物・地学の四分野にわけて、同程度の点数を配分して出題します。基本的な知識、図・グラフや表を読み取る思考力、さまざまな実験を通して実験結果に対する考察力などを中心に問います。加えて、身の周りの理科(身近な自然現象や科学的話題)を取り扱った作問もします。受験生には、基本的な出題に対して取りこぼすことなく、見慣れない話題や実験を題材とした出題に対しても、最後までしっかりと取り組めるように、小学校での観察・実験などを大切にしたり、過去問をよく読んだり、新聞やテレビなどから得られる生活と密着した理科や時事的な科学にも興味をもったりして、理科を楽しめる素地を培って欲しいと考えています。

【試験実施結果】

概ねしっかりと考えられており、基本的な出題であるほど、良く解けている印象でありました。その一方で、早合点・早とちりの印象を受ける解答も目立ちました。具体的には、桁数の多くなる計算問題やグラフの読み取りなど、内容の理解はできていても正解にたどり着けなかった受験生が多い印象でした。また、二つ以上の事象・現象と同時に配慮しながら正解を導き出すような考察の出題や、選択肢の中から複数の正解をすべて選び出すような出題には、例年通り苦戦した受験生が多く見受けられました。

試験中に設問の意図(実験の目的、予想される現象、考察)をしっかりと把握しながら、問題を読み進めることができ、物理・化学・生物・地学にバランスよく取り組むことができた受験生が、高得点へとつながったのではないのでしょうか。

4. 中学校入試結果

①入試状況（過去3カ年）

年 度	2021(7クラス)			2020(7クラス)			2019(6クラス)		
実施日	2/1	2/2	2/5	2/1	2/2	2/5	2/1	2/2	2/5
回	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第3回
募集定員	100	140	40	100	140	40	80	120	40
応募者数	533	1045	560	490	1163	591	498	1175	726
受験者数	497	889	426	452	976	473	474	1007	588
合格者数	181	482	44	166	500	50	146	445	46
実質倍率	2.7	1.8	9.7	2.7	2.0	9.5	3.2	2.3	12.8
最 高 点	279	307	303	263	323	275	280	301	282
合格最低点	233	221	251	195	227	245	223	219	240
繰上者数	1	0	0	7	4	6	4	9	1
	1			17			14		
入学者数	159	109	33	144	115	42	137	100	21
	301			301			258		

※2020年度より7クラス募集にしています。

【各回の主な特徴】

- 第1回（2月1日）は、本校第一志望者が多い。
- 第2回（2月2日）は、1日の難関校併願者が多い。
- 第3回（2月5日）は、再チャレンジや駆け込み出願者が多い。

【出願数の変化】

- ①2月1日参入以降、第1回入試（2月1日）出願数過去最高。
→入学者の半分以上は第1回。第2回の入学者も100名以上。
→2月1日で本郷を合格し、2日以降は他校を受験しなかった生徒 69名
→2月2日で本郷を合格し、3日以降は他校を受験しなかった生徒 24名
→ここ3年でさらに熱望組が増加。

- ②第1回受験者に関して、例年以上にレベルが高かった（合格最低点が例年以上に高い）

②各教科平均点

2021年度 配点：国語 100点、算数 100点、社会 75点、理科 75点 計 350点満点
 時間：国語、算数 各50分 社会、理科 各40分

		第1回					第2回					第3回				
		国語	算数	社会	理科	合計	国語	算数	社会	理科	合計	国語	算数	社会	理科	合計
受験者	点数	64.7	71.0	45.1	36.5	217.2	58.8	60.0	54.6	46.6	219.9	56.4	55.0	52.4	45.2	208.9
合格者	点数	72.1	83.8	50.3	41.2	247.4	64.5	70.8	58.8	54.2	246.1	72.0	75.4	61.5	54.2	263.1

最 高 点	96	100	65	57	279	92	100	72	71	307	88	100	69	66	303
-------	----	-----	----	----	-----	----	-----	----	----	-----	----	-----	----	----	-----

2020年度 配点：国語 100点、算数 100点、社会 75点、理科 75点 計 350点満点
 時間：国語、算数 各50分 社会、理科 各40分

		第1回					第2回					第3回				
		国語	算数	社会	理科	合計	国語	算数	社会	理科	合計	国語	算数	社会	理科	合計
受験者	点数	46.4	53.7	39.4	41.4	180.9	56.1	65.8	53.3	48.0	223.1	67.3	44.2	50.1	47.5	209.1
合格者	点数	52.0	68.1	43.7	48.9	212.8	62.1	75.4	58.5	54.5	250.4	78.6	62.9	57.4	56.8	255.8

最 高 点	79	100	59	66	263	89	100	74	72	323	90	77	70	72	275
-------	----	-----	----	----	-----	----	-----	----	----	-----	----	----	----	----	-----

【本校入試の特色】

○「正答例の配信」を行っています。

受験をした場合、出願の際に登録をしたアドレスに正答例の配信（当日 14:00）を行っています。
 （例年、保護者控室で配布を行っていましたが、前回の入試では保護者控室の設置を行いませんでしたので、配布ではなく配信に変更しました。）

○試験問題は、受験生が持ち帰ることができます。

配信した正答例をもとに、自己採点が可能です。

○「不合格者の方への点数公表」を行っています。

これは本校を再受験する際の目安にさせていただくとともに、長い間勉強した結果を受験生本人に知っていただき今後には活かしてもらいたいからです。

○繰り上げ合格を発表する場合は複数回実受験者から選出します。

複数回実受験者の中で、他回の受験状況を見て、選出しています。
 同じ1点差でも声がかからないケースがあります。

5. 2022年度入学試験について

①入試日程と募集人員等

【中学校】

回	日時	募集人数	科目	発表	手続締切
第1回	2月1日	100名	国・算・社・理	2月1日 19:00	2月2日 15:00
第2回	2月2日	140名	国・算・社・理	2月2日 19:00	2月5日 15:00
第3回	2月5日	40名	国・算・社・理	2月5日 19:00	2月6日 15:00

○ 入試日程、募集人数、合否発表に変更はありません

②変更点

特にありません。

③その他

○繰上合格は、複数回実受験者から選出します。

○出願は「WEB 出願のみ」となります。

6. 説明会日程・公開行事

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、開催日時、内容を変更する可能性があります。
本校のHPまたは入試広報部公式 Twitter で最新情報のご確認をお願いいたします。

